

府立和泉支援学校



テーマ:主体的・対話的で深い学び

概要

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

令和2年度は主体的・対話的で深い学びの各視点について学校全体の教員が理解を深めました。令和3年度は2つの研究授業を通して、各視点を再確認するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を実践した成果や課題などを検証、共有しました。

実施

スケジュール

Research

4月27日(火) 実態把握 全体会にむけての打合せ

Vision

7月16日(金) 全体会 テーマ・目的の共有

Plan

8月~9月 指導案検討

Do

10月4日(月)
10月25日(月) 研究授業

Check & Act

11月1日(月) 研究協議

全体会

7月16日(金)「社会を見据えた子どもの成長と学び、それを意識した授業づくり」

パッケージ研修支援について

- 今はくむべき質問・能力について
- 主体的・対話的で深い学びについて
- おわりに

一人ひとりの成長を促す
和泉支援学校

主体的・対話的で深い学び

社会を見据えた
子どもの成長と学び、
それを意識した
授業づくり

新しい学習指導要領で目指すこと

新しい学習指導要領では、専攻することを目標とする
児童・能力を身につけることを目指しました。

- 1 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの視点は、学びの過程として一貫して実践されるべきであり、相互に支え合い、高め合っていくもの。
- 2 1単元単元ではなく、単元や題材などの内質や特徴の観点から実践を振り返る。
- 3 授業改善の視点であり、目指すべきは、児童・能力の育成。
- 4 深い学びの観点として「思考・考え方を働かせることが重要」。
- 5 児童・能力の育成には、**教育実践全体での対応**が必要。

令和2年度の全体会では主体的・対話的で深い学びの視点について講義を行い、各視点の学びが達成されている際の子どもの姿を教職員全体で共有しました。

そして、令和3年度は昨年度の学びを基に、今の社会に求められている力とそれらを踏まえて整理された学習指導要領についての講義を行いました。また、教員一人ひとりが自身の授業を主体的・対話的で深い学びの視点から振り返り、全体で共有するワークを実施しました。

研究授業

学年・教科： 小学部 第1学年 図画工作科

単元名： 「すなで あそぼう」

研究協議のポイント

「砂の形に注目したり、形の変化に気付いたりすることができる。」という知識・技能の本時の目標を達成するために、TTの言葉かけについても細かく打ち合わせをして授業が行われており、授業改善の工夫について様々な意見が交わされました。



授業が改善されていくと、子どもが見通しを持って主体的に粘り強く取り組む姿が見られ、授業者自身も授業の目標に対しての達成感を感じた授業となりました。

学年・教科： 中学部 第2学年 社会科
単元名： 「グループ学習(社会科)」

消費者として、どのように社会とかかわっていくのかということを中心に題材にして取り組みました。生徒が主体的に活動できるように、ワークシートや振り返りを効果的に取り入れていた点などが共有されました。また、対話的な学びという視点からはワークシートに記入したことを踏まえて自分の意見を他の生徒に伝えて話し合うことで新たな気付きにつなげるための授業の進め方について協議が行われました。



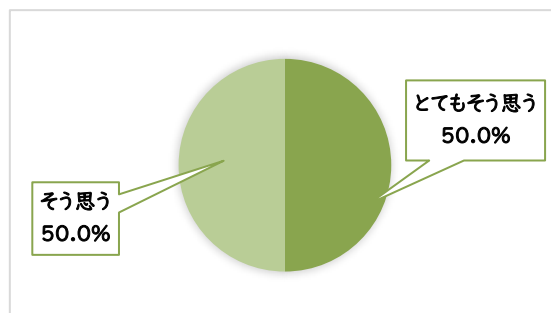
成果

最終の研究協議では、2つの授業を振り返り、授業者が感じた子どもの変化などについてパネルディスカッション形式で話し合いました。パネルディスカッション形式にすることで、全教員が自分の担当している授業をイメージしながら参加することができました。

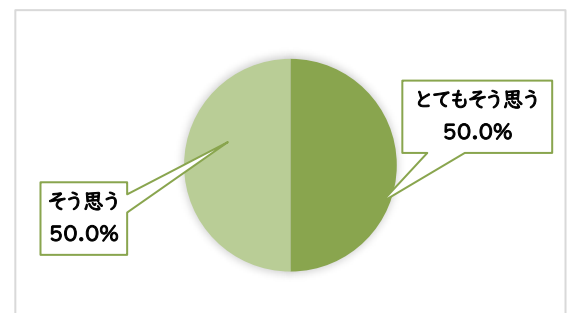
また、子どもの変容についてもどのように見取っていけばよいのかという点などを全教員で考えることができ、今後の授業改善に資する研究協議となりました。

アンケート結果

① 学校のニーズにんでいた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- ・ 学校全体での授業力向上のため、今後も取組みを進めていきたい。
- ・ 教員一人ひとりが学び続けるという意識をもって授業改善に取り組んでいければと思う。
- ・ 授業づくりの観点を学ぶことができた。
- ・ 授業目標の焦点化による、子ども一人ひとりの学びを深める授業づくりについて学校全体で共有できました。研修後アンケートでも教員それぞれが学びを持ち帰り、今後の授業づくりに生かすポイントを押さえることができました。
- ・ 授業改善を継続して行っていくためのシステムや体制づくりが今後の課題になると思います。また、授業改善の前提となる、各教科における育むべき資質・能力についても学校全体で共有していきたいです。